

# 市民医療センター長・事務部長目標

● 市民医療センター長 繁 英樹(しげ ひでき)

● 市民医療センター事務部長 鈴木 哲也(すずき てつや)



## ● 市民医療センターの仕事

市民医療センターは、公的医療機関として地域に必要な医療の確保と保健医療の向上及び健康維持・増進を図るため、内科の入院・外来診療、小児科の外来・急患診療及び人間ドックなどの健診事業を中心に病院事業を運営しています。

## ● 市民医療センターの令和元年度の目標

市民医療センターの目標は、市民の皆さまが、住み慣れた地域でいつまでも暮らすことができるよう、市内の医療機関や地域包括支援センターなどと連携強化を図り、地域完結型医療体制を推進するとともに、安心して子育てができるよう、小児医療体制の安定的な維持に努め、地域に根ざした病院として、市民の皆さまから信頼される医療機関を目指します。

## ● 目標達成に向けた重点事業

No.	事業項目	事業の概要	事業の目標	年度末の目標達成度合
1	地域医療の貢献と在宅医療の支援	埼玉県地域医療構想に示される地域の医療環境の変化に合わせ、市内の関係機関や地域包括支援センターなどとの連携強化を進め、地域医療への貢献や在宅医療の支援に取り組めます。	平成30年11月から入院病床に導入した地域包括ケア病床の充実を図り、在宅療養や介護施設からの患者の入院から退院まで円滑に行える地域連携(地域完結型医療)体制を推進します。	市内の医療機関等への訪問や地域交流会開催による地域連携体制の強化のほか、医療スタッフの増員などにより、特に地域包括ケア病床を中心に安定的な運営ができ、入院患者の増加に繋がりました。
2	小児初期救急医療体制の推進	安心して子育てができる医療環境を整備するため、小児科第二次救急医療機関や、市内の関係医療機関と連携しながら、切れ目のない小児初期救急医療を提供できる体制を維持します。	所沢市域全体、365日、昼間、夜間、深夜の全ての時間帯で、小児初期救急医療体制の安定的な運営に努めます。	市民医療センターと関係医療機関が連携して、所沢市域全体、365日、全ての時間帯で、安定的に小児初期救急医療体制の運営ができました。
3	経営状況の改善	地域の中で必要とされる医療を提供する役割を果たしながら、第三次所沢市市民医療センター改革プラン(平成29年度～平成32年度)を推進し、病院事業の経営改善に取り組みます。	第三次所沢市市民医療センター改革プランに掲げた推進項目の取り組みを進め、経営指標に係る数値目標の達成を目指します。また、将来に向け、安定的に事業を継続していくため、適切な医療スタッフの確保に努めます。	市民医療センター運営委員会からの改革プラン実施状況の点検・評価にかかる答申を踏まえ、経営指標に係る数値目標の達成に向け取り組みました。常勤医師を一人採用するなど、人材確保に努めました。